

みす
水

ぐるま
車



(財)新松戸郷土資料館館報

第16号



財団法人 新松戸郷土資料館

〒270-0034 千葉県松戸市新松戸3-27

新松戸市民センター(三階)

電話 047-344-1909
FAX

発行年月日 平成15年3月末日

もくじ

北千葉導水路 表紙

坂川水系の環境の変化

- 水田の雑草と農薬…………… 2
- 農業と川
雲霞(うんか)と川…………… 3
- 日誌抄・ご案内・編集後記…………… 4

坂川水系の

環境の変化



流山市と松戸市にかけて流れている坂川は、かつては春から秋まで水草が繁茂し、その間を縫うように流れていた川でした。

坂川を管理していた坂川普通水利組合では、これらの季節には藻があまりにも繁茂し、水の流れを悪くするので管理上、藻刈を年三回ほど行いました。肥舟（米五拾俵を積むことの出来る舟）に発動機を乗せ、舟の後尾に二枚羽根の藻刈機を設置します。舟にはロープを付け、土手の上から二人の男が舟を曳き移動させるといった方法でした。発動機によって二枚羽根の藻刈機が回転し藻を刈っていくのでした。

それ以前には、人が川の中に入り藻刈鎌で刈り取る方法しかありませんでした。しかし刈り取った藻が引き上げる前に流れ、橋桁などに流れ着いてしまうと、水分を含んだ大量の藻の圧力によって橋が壊されてしまいます。そのためには早く藻を引き上げなければなりません。水を含んだ藻は何倍も重いので大変な作業でした。

葛飾橋下流は、船の難所といわれていた所でした。昭和一六年に松戸の工兵隊が岩盤を爆破して以来、江

戸川の水位が下がり、坂川の流れもよくなり話題になりました。

しかし、昭和一七、八年頃になるとあれほど大量にあって困っていた藻が、一本も見えなくなりました。その謎はアメリカザリガニにありました。大量に増えたアメリカザリガニが、藻を食べつくしてしまったからでした。

その頃には漁にも変化が見られるようになりました。

鮎、鯰、都たなごなどが多かった坂川が、あつと言う間に朝鮮鮎が異常発生し、鮎、鯰、都たなごが激減しました。そのため戦時中の食料難の時代に食べたい川魚が手に入らなくなり、村の人たちは困りました。

昭和二一、二二年頃になるとどうした訳か急に鰻が取れるようになりました。その頃の坂川は鰻取りの名所となり、夕方ともなると竿に鈴を付けた釣り人で賑わうようになりました。しかしまたアメリカザリガニの大発生がはじまり、稲の被害が多くなり川はザリガニだらけになりました。それによって昭和二五年には朝鮮鮎はすっかり姿を消してしまいました。

鮎や鯰はその頃から少しずつ多く

なつて来ましたが、金鮎や銀鮎はほとんどみられなくなり、ゲンゴロウ鮎ばかりになっていました。すると坂川でそれまで見ることがなかったハゼが釣れるようになりました。

その後横須賀の堰が不要となり取り除かれました。そして横須賀から関の橋あたりまでの川床が砂になり、シジミが大発生することになります。

秋から春にかけて坂川の水量が少なくなると、子供たちのシジミ取りが盛んになり、朝の味噌汁などに入れたり、沢山取った子供は馬橋などに売りに行き、小づかいなどに子供もいました。

その美しい坂川も四、五年でまた変化をし、異変が見られるようになりました。夏になると水面が赤く濁りはじめ、子供たちは川遊びをしなくなりました。産卵のために川に集まる魚の姿も見られなくなり、川は急に変化し、昭和三〇年を境にどうにもならないほどの悪化をたどりました。

水田の雑草と農薬

坂川水系の水田の雑草の中で、昭和になって急激に減少したものにヒルムシロがあります。それまでは水

田一面にはびこり、水田の肥料はみなヒルムシロに吸い取られ、米の収量が減少するために米作は、ヒルムシロとの戦いだったそうです。

昭和一七、八年頃になるとコナギや、マツバエ、サンカクイなどが繁殖するようになり、除草機が大活躍するようになりました。このマツバエは秋の刈取が終わった水田に、緑の絨毯を敷き詰めたようにひろがり、素足で歩いたりするととても気持ちのよいものでしたが、農業には困るものでした。そのようなマツバエやサンカクイを絶滅させる農薬が昭和三〇年代から使用されることになりました。その農薬は24Dというホルモン薬で、その後ベトナム戦争に使用された枯葉剤としてその効力の怖さが世界に知らされました。

坂川水系で24Dを使用していた農家は、その怖さを識って子供や自分達の被害を恐れましたが、さほどのこともなく終わり農家の人達はほっと安堵しました。

農薬と川

水稲栽培は、始めに種籾の消毒用に水銀を使用しました。これはバカナエ病の予防のために三月下旬頃に

使用。五月上旬には、苗代消毒（二化螟虫防除）のため、パラチオン、ホリドールなどを使用しました。

田植え後十日ほど過ぎると、除草剤を散布します。PCPという農薬を一〇アールあたり3kgを使用します。一般の使用は昭和三〇年からはじまりました。この薬は魚介類にとって猛毒の成分をもっていました。

坂川水系の水田約一五〇町歩に四五〇〇kgほど三年にわたって使用されました。そのことによって、昆虫、魚、貝類などが急減し、水鳥、燕、渡り鳥も見えなくなり、下谷名物の蛭まで消えてしまったのもこの時期でした。

共同防除がはじめられ、共済組合が大型防除機を買ひ、各農家組合に貸出しされ二化螟虫防除を六月と七月の二回行いました。薬剤はホリドールとパラチオンを散布しました。また七月下旬には、稲熱病や白葉枯病の予防として抗生物質までもが散布されました。農薬による被害などが新聞記事になり始めたのもこのころでした。

雲霞(うんか)と川

昭和三八年八月下旬、突然水田の

彼方此方が白くなり、稲があつと言う間に枯れはじめ水田全域に広がりました。その光景は初めて見るものでした。のちに雲霞という虫であることを村の人たちが知り、一番効果のある農薬はBHCということでした。粉末の白い粉を散粉機で風の無い早朝に散粉しました。その白煙で下谷地区はまっ白くなっていました。

その後川魚を煮たり焼いたりして食べた人の間では、魚がBHCの匂いがしたというようなことがありました。昭和三九年にも雲霞の大発生があり、またBHCを大量に散布したために、昆虫が激減し燕の飛来も急激に減りました。下谷の農家の五〇パーセントが燕のための巣作りをそれまでしていたのですが、その後はほとんどの家が辞めてしまいました。

二年間に渡りBHCの散布をした下谷地区には、蛇、蚋、牛蠅などの人の血を吸う昆虫が絶滅し、農作業が楽になったと長年害虫に悩まされて来た村の人たちは喜びました。昭和四〇年からは、螢、蠐螬、蝗などを見ることなく、たまに見かけると奇形ばかりで農薬の怖さを知り始

めました。なかでもアルドリン、エンドリンなどは、散布して四、五日も立つと蛙などは痙攣しあつと言う間に死んでしまいました。蛙は蛾や虫を食べるためにしばらくしての発生でした。

昭和五〇年代に入り、このような恐ろしい農薬はやつと使用禁止となりました。



ヒルムシロ



サンカクイ

日誌抄

平成十四年

1・6	仕事始め
・9	全体会議
・26	第4回「南極教室」
・30	館長講演(柿ノ木台小学校)
・31	新松戸南小学校3年生見学
2・1	馬橋北小学校3年生見学
・2	新松戸西小学校4年生見学
・6	全体会議
・9	館長講演「戦時中の食事体験」(松戸市市民会館)
・12	清流ルネッサンス21会議
・14	市原市役所土地地区画整理組合、土地整備課来館
・27	河川愛護団体会議
3・3	第5回「南極教室」
・6	全体会議
・16	新松戸北小学校卒業式
・19	江戸川左岸圏流域懇談会
・23	第6回「南極教室」
・25	理事会
・28	河川愛護団体会議
4・3	全体会議
・	館報15号発刊
・19	新松戸南小学校6年生見学
・20	第7回「南極教室」
・22	研修「花桃の里・古河と

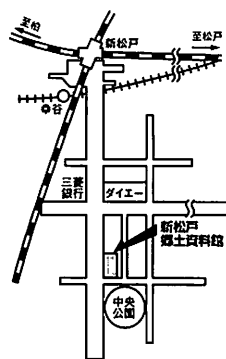
5・1	渡良瀬遊水池
・13	全体会議
・27	花桃植樹祭
6・1	理事会
・5	館長講演(大勝院)
・7	全体会議
・8	研修(山階鳥類研究所記念講演)
・26	第8回「南極教室」
・28	新松戸北小学校3年生見学
7・3	全体会議
・5	掛行灯メッセージ募集開始
・10	新松戸北中学校評議委員会
・12	松戸市史跡めぐり来館
・13	博物館実習生研修・東洋大
・17	松戸市史跡めぐり来館
・18	坂川掛行灯まつり
・21	第19回夏休み子供歴史教室
22・23	館長講演・ロータリークラブ
・30	松戸市史編纂会議
・31	葛飾区郷土と天文の博物館学芸員来館
8・1	新松戸南小学校職員研修
・2	全体会議
・7	研修(水すましを観る)
・21	新松戸西小学校職員研修
・23	農村生活総合センター来館
・24	松戸史談会来館
・28	子供歴史教室再会日

9・2	江戸川左岸圏流域懇談会
・4	全体会議
・21	「南極教室発表会」
・24	千葉日報取材協力
・27	地域と考える川づくり懇談会
10・2	清流ルネッサンス21会議
・27	全体会議
・17	新松戸南小学校3年生見学
・18	国土交通省取材協力
・19	新松戸南小学校5年生見学
・25	古ヶ崎南小学校4年生見学
・30	資料館体験学習・新松戸西小学校4年生
・31	新松戸南小学校5年生見学
11・1	北部小学校3年生見学
・6	南流山小学校4年生見学
・11	新松戸西小学校創立記念式典
・20	館長講演「農家の生活」
・21	中央学院大学取材協力
・27	横須賀小学校4年生見学
・28	新松戸西小学校4年生発表会
12・3	横須賀小学校4年生見学
・4	馬橋北小学校4年生見学
・18	新松戸北中学校ミニ集会
・27	全体会議
・29	掛行灯・新設展示
・31	仕事納

資料館利用のご案内

- ▽開館日 毎週水曜～日曜日
- ▽時間 10時～16時(ただし、入館は15時30分迄)
- ▽入館料 無料
- ▽所在地 松戸市新松戸3-27 新松戸市民センター3階

▽電話 047・344・1909
FAX



編集後記

流山市、松戸市をながれている坂川は、かつては水害の常習地帯である下谷の悪水路ともいわれていました。戦前まではその坂川も、魚貝類の恵みなどもあり村の人々にとって大切な川でした。

しかし戦後の河川の悪化は著しく、環境の変化は驚くほどでした。現在は、全国的な見直しによって親しめる川、美しい川に変化して来ました。